



# 岡小だより

創り出す子  
思いやる子  
きたえる子

旭川市立神楽岡小学校



よろしくお願いします！「進んで挑戦する子」の育成を目指して



神楽岡小学校長 三浦礼子

今年の冬は降雪量が多く、除排雪も大変な日がありました。けれども自然の力は偉大で、あんなに高く積まれた雪も解け、春を告げるふきのとうの姿が目にとまるようになりました。グラウンドの雪も解け、子ども達のために冬のスキー学習のために雪山を造設して下さった業者の方が、グラウンドの状態を気に掛けてくださり、雪解け後のグラウンドのゴミや大きな石を手作業で取り除いて下さっていました。地域の多くの皆様に助けをいただきながら学校教育が成り立っていることを痛感した次第です。

新型コロナウイルスの感染拡大予防の視点で、世の中も大きく変わりました。新しい生活様式のもと「安心・安全な学校」「学びを保障する学校」づくりがなされています。

4月7日の入学式では77名の1年生が入学し、408名の児童で本校も令和3年度がスタートしました。また、新たに10名の教職員が赴任し、学校も昨年度以上に心を一つにして今年度の教育活動を展開してまいります。

「3密」に気を付け「消毒」「手洗い」「マスク着用」「換気」等の予防措置を十分考慮しながら、行事の在り方もよく考えて実施していきます。御家庭の御理解と御協力なくして教育活動は成り立ちません。お子様を中心にすえ、よりよい教育活動を目指していくためにも、今年度も御支援いただきますようお願いいたします。

## 令和3年度の教育活動方針について概要をお知らせします

### 【重点教育目標について】

本校の学校教育目標は「創り出す子（知） 思いやる子（徳） きたえる子（体）」からなっています。今年度神楽中学校区の学校は、昨年度に引き続き「主体的」をキーワードに「知・徳・体」のバランスのとれた教育を行います。神楽岡小は子ども達に合い言葉として「**進んで挑戦する子**」を掲げ、一年間その姿を示せるよう働き掛けていきます。その姿の中で、創り出す子に迫るために「**進んで学ぶ子**」、思いやる子になるために人と人との関わり方に目を向け、心と心のキャッチボールとなる「**進んで挨拶や返事ができる子**」、きたえる子につながるよう、最後まであきらめずに目標や活動をやりぬく「**進んで最後まで取り組む子**」を目指します。学校・家庭・地域が同じ視点で子ども達を育てていきたいと考えます。詳しくは右面の『共に育む 岡小っ子2021』に示しましたので御覧ください。

また、本校は市内の学校のなかでもICT推進校として授業改善に取り組んでいきます。一人一台の端末機（iPad）を活用した授業を念頭に、授業のどの場面で、どのような使い方をすると学習効果につながるかを確かめながら毎日の授業を積み上げていきます。参観日資料として配付した、旭川市教育委員会からの資料「旭川市小・中学校のICT活用について」も再度御一読いただければと思います。

【行事について】・・・昨年度の経験を生かしながら感染症予防対策を踏まえて行っています。○その時の情勢を踏まえつつ、安全対策を重視した見直しを常に図りながら進めます。引き続き御家庭の御協力をお願いいたします。なお、内容等につきましては、その都度お知らせします。

## 学校教育目標

**創り出す子 (知)** ○どの子にも学び合う力を  
**思いやる子 (徳)** ○どの子にも豊かな心を  
**きたえる子 (体)** ○どの子にもたくましさ



## 本年度重点教育目標 進んで挑戦する子の育成

◎進んで学ぶ子 ◎進んで挨拶や返事ができる子 ◎進んで最後まで取り組む子

